

アトリエ 琉游舎 だより 112号

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/
 琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

2021年8月25日発行

葉見ず花見ず彼岸花

- お盆の前後に梅雨が舞い戻ったかのような日々が続きましたが、あれは梅雨の戻りだったのでしょいかそれとも一足早い秋雨前線だったのでしょいか。そうだとしたらそろそろ一緒に彼岸花が咲き始めるのですが、そんな兆候は田圃の土手にもお墓の周りにもないようです。
- 彼岸花は不思議な花です。残暑がどんなに厳しくても、冷夏で雨が降り続いても、彼岸になると、何の前触れもなく一気に赤い花を咲かせます。葉のない茎の先にまず花がつく彼岸花は、普通の植物と違った成長をします。彼岸のころいきなり茎がスーと伸びて花を咲かせ1週間も経たずに花が終り茎が枯れてしまうと、今度は葉が伸びて緑のまま冬越しをします。花のある時には葉はなく、葉のある時には花はない。「葉見ず花見ず」と呼ばれる植物です。
- 彼岸花の別名”曼珠沙華“はサンスクリット語の manjusaka の音写で「天界に咲く花」を意味します。おめでたい事が起こる兆しに赤い花が天から降ってくる、という仏教の経典からついた名前です。仏教徒にとってはとても有り難い花なのですが、別名として語られる名前はあまりおめでたいものではなく、不吉なものばかりです。死人花、地獄花、幽霊花、剃刀花、狐花、捨子花、毒花、痺れ花、天蓋花、狐の松明、狐花、雷花そして”葉見ず花見ず“です。
- 彼岸花の球根はリコリンという有毒成分を持っています。田圃の畦道に植えられている理由はネズミ除け、堤防にはモグラの害から堤防を守るために彼岸花が植えられ、お墓に彼岸花が植えられているのはこの花の有毒性を利用して遺体を動物から守るためのものなのです。球根の毒性は彼岸花自身を守るばかりでなく、害獣から私たちの生活も守っているのです。
- 有り難いから不吉な名まで様々な異名を持つ彼岸花の本質は、鮮やかな赤い花にあるのではなく、地中の球根が人知れず私たちを守護してくれるところにあるようです。声高に国民の安全を守ると叫びながら、でもこれからは自分の身は自分で守りなさいと開き直り、いつの間にか公助を放棄してしまった”安全安心な国、日本“。これで私たちもやっと”自助こそ身を守るすべ“と覚悟ができました。本来自助のためにあった彼岸花の球根が私たちを守護するように、私たちも自助同士の関係性が、共助・公助へと続く道を探る必要があります。



彼岸会法要

9月23日(木)10時半から



写経会

般若心経・自我偈・観音偈の手本を用意しています。初めての方もすぐにできます。

9月12日(日)
13時半

読書会

日蓮の「立正安国論」と消息文を読みます。テキストもすべてご用意。

9月14.28日
火曜13時半

映画会

9月23-30日(木)
お休みします

9/2 木	13時半	金曜日のテレザ (87分)	ヴィットリーオ・デ・シーカ監督。小児科医のピエトロは借金返済のため孤児院の担当医となり、勝ち気な美少女テレザと出会う。
9/9 木	13時半	暑い夜の疼き (105分)	さえない男との結婚を選んだ女は、別の男に次第に惹かれていき、夫との別れを決意するが、モンローが女の義妹役で主人公とは対照的に純朴な女性を演じる。
9/16 木	13時半	恐怖省 (86分)	退院したばかりのニールは、列車を待つ間に近くで開催されていた慈善パズルに立ち寄る。ゲームで見事ケーキを獲得したニールだが、その後奇妙な事件に巻き込まれていく。

9/23・30は映画会お休み

自分の誕生日を忘れる人はいないと思いますが、うっかり家族の誕生日を忘れていて慌てて取り繕った経験がある人も多いのではないのでしょうか。結婚記念日を忘れていたりしたら大変です。どのような形であれそれについて大きな代償を払うことになることは間違いないでしょう。その人にとってその日そのことが重要であればあるほど忘れるはずもなく、節目の一日として特別な日となるのです。だから一年に一回の記念日は過ぎた一年を振り返り、次の一年へとまた歩み始める節目の日として、人は祝福し合うのです。

国の記念日の一つである祝日は年間16日あります。私の子供の頃は数も多くなかったので学校が休みになる祝日を心待ちにし、その日が日曜と重なるとがっかりしたものでした。ところがいつの間にか月曜日が振替え休日になったり、祝日の一部を月曜日に移す「ハッピーマンデー制度」ができたりで、記念日が日にちとして固定されなくなりました。特に今年の7、8月にかけての祝日はカレンダーの変更も間に合わず何の休みの日か訳が分からない状態です。私は毎日が休日のようなものなので“市役所がやっていないけどどうして？”と尋ねて始めて祝日に気づく程度で影響はありませんが、勝手に祝日を異動されて困った人も多かったはず。記念日が固定されない記念日はさして重要ではない記念日ということなのでしょう。“海の日”“体育の日”“山の日”より五輪の方が重要だったことは言うまでもありません。因みに記念日としてさして重要と国が考えていない記念日は上記の他に“成人の日”“敬老の日”です。1月15日と9月15日の祝日は月曜を休みにして連休にあてるために固定日ではなくなりました。私は4月6日の誕生日を特別な日と思うには馬齢を重ねすぎてしまっていますが、とは言え4月8日のお釈迦様の誕生の日に間違ってお誕生日おめでとうと祝福されても私は喜ぶ気にはなれないでしょう。他者にとってはどうしてもよい日も当事者にとっては特別な日が記念日です。成人の日や敬老の日は果たして国民や国にとって特別な記念日なのでしょうか。それとも当事者の皆さんにとっての節目の一日になるには“成人”も“敬老”も実体のない言葉となってしまったのでしょうか。

成人になることを祝福されず老人になることを敬われないとしたら、誰も成人になりたがらず誰も老人になりたがらないでしょう。今の日本は成人になることも老いることも拒否する人で溢れかえっているような気がします。子供のままの大人と老成しようとしなない老体ばかりといえ言過ぎでしょうか。成人や老人になることが心から祝福されない社会は、子離れ親離れができない親子と既得権を手放さない大人たちでいのちの順送りが機能不全を起こしている社会です。人は心から願いそれを行ない祝福されてこそ前に進むことのできる生き物ではないのでしょうか。節目は自分の過去を確認し未来を見つめるために必要な時です。その時を越えて進むことが成人しよう、あるいは老人であろうと発心することなのです。老いることは「良き生」を生きてきた人が「良き死」に向かって生きていこうと発心することだと私は考えます。同様に、成人になることは今まで親の生を分け与えられて生きてきた若者が、これからは人に自分の良き生を分け与えるために生きていこうと発心することです。発心なき生が良き生であるはずがありません。なぜならば、発心なきところに願いも誓いも行いもなく、またその発心を祝福し見守る眼差しも存在しないからです。

一般的な意味で言えば発心は“物事を始めようと思いつくこと”ですが、私たち信仰者にとってそれは信仰者であり続けることと同義なのです。お釈迦様を信仰する者の発心は菩提心を発することです。仏の悟りを得ようとする心を起し、仏道に足を踏み入れることです。そしてその仏道を歩み続けることが発心です。道で止まるものは信仰者ではありません。願い誓い行い続けて歩を止めない者が発心する信仰者と呼ばれるのです。信仰者がなぜ発心する者であり続けることができるか、それはお釈迦様が常に信仰者を見続けていてくれるからです。その眼差しは仏の慈悲、教え、法灯明、などと呼ばれるもの。その眼差しを感じる時信仰者は大きな喜びに包まれます。その喜びの日々が安らぎの処へと歩み続けるありのままの日々なのです。

法華経方便品第二の訓読経文です。「諸仏世尊は、衆生をして仏知見を**開かしめ**清浄なることを得せしめんと欲するが故に世に出現したもう。衆生をして仏知見を**示さん**と欲するが故に世に出現したもう。衆生をして仏知見を**悟らしめん**と欲するが故に世に出現したもう。衆生をして仏知見の道に**入らしめん**と欲するが故に世に出現したもう。」これが仏様の発心であり誓願であり行ないです。これを「開示悟入」といいます。仏様が世に現れた目的は「世の人々に、仏の智見を開き、示し、悟らせ、仏道に入らせること」です。私たち仏の信仰者はこの仏様の発心を知り、引き受け、つなぎ、次に引き渡すために存在する者です。仏様の発心を私たちが引き継ぐこと、これが仏様の永遠のいのちをつなぐことです。私たちはかけがえのないその繋ぎ役の一人です。その繋ぎ役が誰もいなくなったとき、私たちの永遠のいのちはそこで終りを迎えるのです。

何者かであろうとする発心がなくなったとき、何者かである実体はもはやないものとなります。祝福されない者に人はあえてなろうとはしないからです。信仰者である私は常にお釈迦様の祝福を身に纏っているので、私のいのちが次へとつながることを確信しています。一方私は今、社会的立ち位置としては成人から老人へと自らを順送りにしていくところにあります。しかし今私たちの社会は成人や老人になることを誰もが心から祝福する社会でしょうか。成人や老人を引き継ぐ者がいなくなったとき、その存在はそこで終りを迎えます。私は私の成人をどこに引き渡せば良いのか、そして私はどこから私の老人を引き受ければ良いのか、信仰者の私が現在の日本社会の中で生活している限り、**琉游舎：戸井 出琉・恭子**
お問い合わせ：0287-53-7848 08033508152
矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850
メール：toi10lizuru@outlook.jp

避けては通れない難問です。